

第4回循環資源利用促進税事業検証懇話会開催概要

- 1 開催日時
平成28年8月23日（火） 14時00分から15時50分まで
- 2 開催場所
北海道立道民活動センター（かでる2・7） 620会議室
（札幌市中央区北2条西7丁目）

- 3 出席者
（1）懇話会委員（敬称略、50音順）

所 属	職	氏 名	出 欠
北海道農業協同組合中央会	農業振興部長	浅野 正昭	欠席
北海道大学大学院工学研究院	准教授	石井 一英	出席
北海道漁業協同組合連合会	環境部長	井下 泰浩	出席
北海道経済連合会	理事 事務局長	菅原 光宏	出席
地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 工業試験場	材料技術部長	高橋 徹	出席
公益社団法人 北海道産業廃棄物協会	副会長	寺嶋 忠雄	出席
北海道中小企業団体中央会	連携支援部長	馬込 毅	出席
一般社団法人 北海道食品産業協議会	専務理事	矢倉 武志	欠席

（2）事務局

所 属	職	氏 名
北海道環境生活部環境局循環型社会推進課	課 長	田畑 寿幸
//	主 幹	木村 尚司
//	主 査	早田 武志
//	主 任	堀 英樹

4 開催概要

○課長より挨拶

- ・前回6／3の懇話会開催後、経済団体等で構成する循環税事業関係団体連絡会議及び道庁内関係部によるワーキンググループを開催し、税事業の検討経過について説明を行うとともに、要望・意見等や新規事業の提案などをいただいたところであり、その内容については、本日、説明する。
- ・本懇話会は、全5回の開催を予定しており、本日の議論で方向性に目途がたてば、10月中旬頃に最後の会議を開催することを考えているので、本日は様々な提言をいただきたい。

(1) 第3回懇話会の指摘事項への対応等について

○資料3及び参考資料1に基づき、事務局より説明。

○指摘

- ・資料3の前回指摘事項への対応等について座長から確認、各委員了承。
- ・参考資料1のような具体的な事業案を懇話会メンバーから提案することは可能か。
(石井座長)
- ・連絡会議での意見で、リサイクル率が低い建設混合廃棄物への支援の要望については、産廃協として、具体的な対応についての考えはあるのか。(石井座長)
→北海道では、プラント化に費用をかけているところはほとんどないため、プラント化を推進することにより、分別が進み再利用が増えると考えするため、補助率を上げてもらえるよう要望する。(寺嶋委員)
- ・最終処分業者への優遇措置における具体的な内容として、屋根の整備など、より適切な維持管理のための追加投資に対する補助について検討願う。(寺嶋委員)
- ・PCB処理事業は、水銀等の対策を含めた複合的な普及啓発が望ましい。
また、リサイクル等に係る環境教育は、対象について整理が必要。(石井座長)
- ・研究開発補助事業終了後における研究成果や事業化の状況については、道総研の研究発表会やその他の会議などの場をかりて、発表することが有効と考える。(石井座長)
→道総研の対応は可能。(高橋委員)

(2) 北海道循環資源利用促進税事業の検討に関する報告書(素案)未定稿について

○資料4に基づき、事務局より説明

○指摘

- ・P5の不法投棄件数について、想定されるばらつきの理由として、1件あたりの量が多いことや年度ごとの判明の有無に左右されるということか。(井下委員)
- ・P9の税事業の効果の表6について、合計の実績値が目標値の約半分となっているが、計画どおりならなかった理由は把握しているのか。(高橋委員)
- ・P19、22のリサイクル率の伸び悩みについて、最大の改善方法は普及啓発で

あるのとらえ方なのか、他の方法はないのか。判明しているリサイクルが進んでいないもの、地域的な課題があるものについては、それに対する具体的な方法があると思われる。

また、P22に産業廃棄物の実態を的確に把握とあるが、今までも実態把握は行っていたと思われるが初めて実施するような表現となっている。（菅原委員）

- 現在、実施している実態調査は、統計的な内容であることから、今後は、埋立量を減らす、リサイクル率を上げるという目的を持った調査を行い、課題・施策等を考えるべき。（石井座長）
- P3の表1 北海道の産業廃棄物の排出・処理状況の推移の表については、目標値を入れるべき。（石井座長）
- P10の図5最終処分量の推移について、H23の実態調査の最終処分量と税収から換算した最終処分量について、どの程度の違いがあるのか。（石井座長）
- 設備整備費補助の優先的に取り組む産業廃棄物について検討するのであれば、建設混合廃棄物と併せて廃石膏ボードについても埋立後に硫化水素が発生するなどの課題があるので、対応を考えてほしい。（石井座長）
- 廃石膏ボードについては、新築ではリサイクル率が高いが、解体については異物が多く技術的にもリサイクルが難しいので、技術開発とともに、施設整備への重点的支援をお願いしたい。（寺嶋委員）
- P20の取組の拡充強化について、民間企業の技術開発事業について及び民間と自治体協同のソフト事業に対する支援についても加えてほしい。（石井座長）
- 事業者が抱える課題については、企業側の実態としては、それらの課題について、対応しきれない状況であり、生産性の向上に繋がるような経営面での支援が求められていることから、具体的な支援策を加えてほしい。（馬込委員）
- 企業が主催する研修会などについて講師派遣の支援はあるのか。（寺嶋委員）

（３）その他

○事務連絡

次回の懇話会については、10月中旬を予定しているので後日、日程調整の連絡。報告書に対する新たな意見・要望について、9月中旬を期日に様式にて提出願う。